

**公益財団法人さんりく基金**  
**平成 30 年度第 1 回評議員会 議事録**

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 平成 30 年 6 月 6 日 (水) 午後 1 時 25 分から午後 2 時 15 分
- (2) 場所 岩手県盛岡市内丸 10 番 1 号 岩手県庁 4 階 4-2 会議室

2 評議員の現在数 評議員 7 名

3 出席者

- (1) 評 議 員 佐藤 廣昭                      評 議 員 高 泰久  
評 議 員 中居 正剛                      評 議 員 橋本 良隆  
評 議 員 藤田 康幸

(2) 役員

業務執行理事 鈴木 敦

(3) 事務局

事務局 長 菅原 健司

総務管理部長 竹花 光弘

総務管理部次長 小川 信子

事務局 員 藤原 杏奈

企画事業部長 酒井 淳

DMO 事業部次長 藤島 修

事務局 員 川村 泉

4 欠席者

評 議 員 菅原 悦子                      評 議 員 山崎 秀樹

5 議長

中居 正剛

6 決議事項

第 1 号議案 議事録署名人の選出について

第 2 号議案 平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認について

第 3 号議案 平成 29 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について

7 議事の経過

午後 1 時 25 分開会した。

鈴木業務執行理事から、評議員現在数 7 名中、本人出席 5 名により、定款第 20 条に定める定足数を満たしており、本評議員会は成立する旨を告げた。続いて、中居議長からあいさつがあり、以降の進行は、中居議長により進められた。

報告 「職務執行の状況について」

議長は、報告を求め鈴木業務執行理事が報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めた。

#### 【佐藤評議員】

各助成事業の審査委員会のメンバー構成は、どのような組織なのか。

#### 【菅原事務局長】

それぞれの助成事業の目的にあわせて委員の構成を変えている。

「調査研究事業」は、岩手県立大学、岩手大学、北里大学、岩手県水産技術センター、岩手県工業技術センターのメンバーで構成している。

「県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業」は、食の商品開発が中心ということで、いわて産業振興センター、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会から委員を推薦いただいている。

「地域コミュニティ再生・活性化支援事業」は、地域づくりの観点から、岩手県立大学研究・地域連携課長、県農業振興課総括課長、県若者女性協働推進室青少年・男女共同参画課長をお願いしている。

「イベント開催助成事業」は、復興の観点や三陸防災復興プロジェクト 2019 につなげていくということもあり、三陸防災復興プロジェクト 2019 推進課総括課長、県観光協会専務理事、さんりく基金総括コーディネーターをお願いしている。

#### 【高評議員】

イベント開催助成事業について、予算に対して、申請が多く出ている。これは防災復興プロジェクト 2019 やラグビーワールドカップの関係でかなり増えているという状況なのか。

#### 【菅原事務局長】

昨年度申請件数 5 件に対して、今年度は 12 件と増えているところ。昨年度については、1000 万円以上の規模のイベントを対象としていたが、今年度は 500 万円以上を対象とし、下限を下げてイベントの促進を図るという狙いもあったことから、申請の増加につながったものと考えられる。

その他特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

#### 第 1 号議案「議事録署名人の選出について」

議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は佐藤評議員と高評議員の 2 名を指名した。

#### 第 2 号議案「平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認について」

#### 第 3 号議案「平成 29 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は、第 2 号議案と第 3 号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第2号議案、第3号議案について一括して質問、意見を求めた。

**【高評議員】**

「さんりく未来創造塾」について、参加した受講者の住所はどのあたりか。開催場所は宮古と盛岡であるが、今年も固定で同じか。

**【菅原事務局長】**

対象については沿岸地域全域ということで参加者を募っており、昨年度は洋野町、岩泉町、陸前高田市などから幅広く参加頂いた。開催場所については、東京オリンピック・パラリンピック等経済界協議会からの協力を得て、首都圏からの講師の派遣を依頼しているため、集まりやすい場所ということで盛岡で開催した経緯がある。宮古についても沿岸の中間点ということで、この会場を選定したところ。今年度についても参加者の集まりやすい場所で開催したいと考えている。

**【藤田評議員】**

10名受講で、8名が修了となっているが、2名はどうなったのか。

**【菅原事務局長】**

全講座に参加することが前提となっており、途中で参加が難しくなった方もいる。座学の他に、個別の事業者に対する伴走型支援の指導も加えながら実施し、最終的に事業構想まで練り上げるところまで持っていくが、2名が残念ながら脱落したということ。

**【佐藤評議員】**

資料の作り方に対する要望であるが、6ページから9ページまでの事業実施状況について、助成事業については別添資料もあり中身が分かりやすいが、前半部分の委託事業等に関しては、内容についてもっと詳しく記入すべき。事業費、対象者、サンプル数や結果など、そういった点を補完するような形での資料作成を今後お願いしたい。

**【菅原評議員】**

承知した。なお、調査結果について、分析し、まとめたものを後ほど提供したいと考えている。

**【橋本評議員】**

佐藤評議員と同意見である。その先得られたもの、どう生かそうとしているのかといった視点で整理が必要。例えば、助成件数や受講者数が書かれているが、その後その人達はどうなっているのか、活動に従事しているのかいないのか、どのような形で参画しているのか、などの情報が欲しい。そういう情報がなければ、成果を測定するのが難しいという印象がある。

**【藤田評議員】**

委託調査で様々な調査を行っているが、調査結果等の成果物は、理事・評議員だけでなく、沿岸市町村に提供しているか。

**【菅原事務局長】**

フィードバックということで結果を取りまとめて、活用するよというよということで、市町村に提供している。29年度分についてはこれから行うもの。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第2号議案及び第3号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

議長が、その他質問、意見を求めた。

**【藤田評議員】**

助成事業のプレスリリースについて実施しているか。

**【菅原事務局長】**

各事業について、それぞれの採択者に対してPRするよよには伝えてあり、新聞にも取り上げられている事業もあるが、基金としてプレスリリースはしていない。調査結果ということで、成果報告会での成果発表と併せてマスコミへのリリースを実施しながら成果のPRに繋げていきたい。

**【藤田評議員】**

成果報告会は、調査研究事業のみか。事業者からの発表はあるのか。

**【菅原事務局長】**

主に調査研究事業の採択者のみで、商品の展示紹介はしているが、事業者からの発表はない。

**【藤田評議員】**

調査研究事業について、先日沿岸市町村の首長と話す場があったが、調査研究助成がどう役に立っているのか、三陸振興に役立っていないなら別の部分で使ったらどうかという意見を頂いた。成果報告会をやっているということだが、具体的にどう役に立っているのか、どういう成果が現れたのかという部分を、理事や評議員にも分かりやすく共有できるようにしてほしい。

**【橋本評議員】**

調査研究というのはどうしても学術研究的な部分があり、三陸エリアを研究フィールドにしてさまざまな調査研究をして、そこが研究する価値のあるエリアであるということも意味があると思う。研究者に着目するような形も必要。ただし、求められるのは、地元はどう還元されるのかということに帰着するので、事業や成果も積極的にPRしていかないといけない。

その他特に発言はなく終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午後2時15分閉会を宣し、解散した。